

国立大学法人 大阪大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会 承認番号：17293

研究課題「先天性及び小児期発症疾患を持つAYA世代に対する移行期医療への援助」

実施期間

2020年8月31日まで

研究機関

大阪大学医学部附属病院 保健医療福祉ネットワーク部/医療技術部リハビリ部門

目的

医学の発展に伴い、小児がんサバイバーの増加、小児期発症の慢性疾患を持つ患者さんの予後の改善などにより、小児医療から思春期・成人期に至る継続的な医療体制が必要となってきました。厚生労働省『今後のがん対策の方向性について(～これまで取り組まれていない対策に焦点を当てて～)』では「AYA世代のがん対策については、就労時期と治療時期が重なるため、働く世代のがん患者とは異なった就労支援の観点が必要であることに加え、心理社会的な問題への対応を含めた相談支援体制、緩和ケアの提供体制を含めた、総合的な対策のあり方を検討する必要があります。」と提言しています。本研究では、大阪大学医学部附属病院・心のケアチームに依頼のあった、先天性及び小児期発症疾患を持つAYA（思春期・若年成人）世代の患者さんに対して行う言語・非言語カウンセリングの内容を発達援助の視点から分析し、移行期医療における心理社会的サポートの有用性について検討します。また分析、検討した結果をもとに、本院におけるAYA世代の患者さんに対する相談支援体制の構築を目指します。

方法

研究開始日から2020年3月31日までにカウンセリングを行う20例（予定）について、カウンセリング記録を含む診療録を分析します。

意義

本研究によって、先天性及び小児期発症疾患を持つAYA世代患者さんに対する移行期医療の相談支援体制の構築を目指します。

個人情報の保護

本研究で得られた結果は貴重な資料として学会や医学雑誌に公表されることがあります。その場合、患者さんの個人情報は、外部から特定化されないように厳重に管理されます。

参加の自由

本研究への参加を拒否されたい患者さんは下記までご連絡下さい。

問い合わせ先

大阪大学医学部附属病院 保健医療福祉ネットワーク部/医療技術部

研究責任者：臨床心理士 田口真由美

連絡先：06-6879-5208